

その他にもいろいろありました...

◆幹線道路ネットワークの整備

●国道57号北側復旧ルート・現道部 開通式

10月3日、国道57号北側復旧ルートと現道部の開通式が開催されました。平成28年熊本地震により現道部の斜面が崩落し、ミルクロードが阿蘇へのアクセスの迂回路となっていました。今回の開通により迂回が解消されました。両道路の開通により、阿蘇をはじめ熊本全体、ひいては九州全体の観光・経済の活性化の追い風になるものと期待されます。



北側復旧ルート開通式
(二重峠トンネル内)



国道57号現道部開通式
(南阿蘇村立野)



●九州中央自動車道 蘇陽五ヶ瀬道路の新規事業化

●中九州横断道路 大津熊本道路（合志～熊本）の新規事業化

九州中央自動車道では、蘇陽五ヶ瀬道路が2020年度新規事業化され、12月5日に中心杭打ち式が開催され、本格的な測量に着手されました。事業区間は山都町塩原から宮崎県西臼杵郡五ヶ瀬町大字三ヶ所までの延長7.9kmで、2車線の自動車専用道路となります。

また、中九州横断道路では、大津熊本道路（合志～熊本）が2020年度新規事業化され、12月12日に中心杭打ち式が開催され、本格的な測量に着手されました。事業区間は合志市上庄（かみのしょう）から熊本市北区大鳥居町の延長9.1kmで、4車線の自動車専用道路となります。



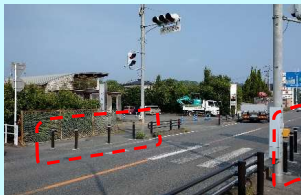
九州中央自動車道中心杭打ち式
(山都町役場蘇陽支所)



中九州横断道路中心杭打ち式
(合志市総合センターグリーブル)

◆未就学児等の集団移動経路の安全確保

令和元年5月8日大津市で発生した園児の交通死亡事故などを受けて、関係者で緊急安全点検を行い、緊急対策事業に着手しました。令和2年10月末までに要対策箇所65箇所中、八代不知火線（宇城市）防護柵設置など46箇所の対策が完了しており、安全・安心な歩行空間の確保が期待されます。



◆「熊本県自転車活用推進計画」の策定

令和2年3月に「熊本県自転車活用推進計画」を策定しました。自転車通行空間の確保やサイクルツーリズムの推進などを重点施策に位置付け、本年度から令和5年度までの4年間を推進期間としています。



さてさて来年は...【R3年(2021年)の主な予定】

- | | | |
|-----------------------------|----------|----------|
| ●国道325号（菊池拡幅）【菊池市】 | 延長0.80km | R3春頃供用予定 |
| ●国道443号（石原椿拡幅）【美里町】 | 延長0.60km | R3春頃供用予定 |
| ●国道445号（泉～相良バイパス九折瀬工区）【五木村】 | 延長0.52km | R3春頃供用予定 |
| ●国道388号（湯山峠工区）【水上村】 | 延長0.40km | R3夏頃供用予定 |
| ●（主）八代鏡宇土線（新松原工区）【宇土市】 | 延長0.21km | R3夏頃供用予定 |
| ●（主）水俣田浦線（福浦工区）【芦北町】 | 延長0.80km | R3冬頃供用予定 |

・ ・ ・ほか

熊本県

道路かわら版 2020

※期間：2020年1月～2020年12月

国道57号北側復旧ルートが開通

【大津町～阿蘇市】



北側復旧ルート車帰IC付近
写真提供：熊本河川国道事務所

熊本地震による大規模な斜面崩壊によって通行止めとなっていた国道57号の代替路である北側復旧ルートが国の直轄代行により10月3日に開通しました。延長は約13kmで、熊本都市圏から阿蘇地域へのアクセスが飛躍的に向上しました。

令和2年（2020年）12月24日

道路整備課・道路保全課・都市計画課

(一) 和仁菊水線「江栗工区」の開通 (和水町)



平成24年から事業を取り組んでいた和仁菊水線(和水町江栗工区)の1.1kmを供用開始しました。
本路線の供用により、安全で円滑な交通の確保、通学生の安全性確保に寄与することが期待されます。

2020年の主な出来事・供用箇所

令和2年(2020年)1月～令和2年(2020年)12月

凡 例	
高規格幹線道路	地域高規格道路
■ 供用区間	■ 供用区間
■ 基本計画	■ 計画路線
■ 整備計画	■ 調査区間
■ 整備計画	■ 整備区間
○ 候補路線	
— 一般国道	○ 候補路線
— 主要地方道	



(一) 南小国上津江線「中原工区」の開通 (南小国町)



平成23年から事業を取り組んでいた南小国上津江線(中原工区)の1.2kmを供用開始しました。
本路線の開通により、安全で円滑な交通の確保、自転車歩行者の安全確保に寄与することが期待されます。

道の駅「泗水」の防災拠点化整備完了 (菊池市)



道の駅「泗水」において、防災拠点化整備が完了しました。
断水時や停電時にも利用可能な防災トイレ等の整備が完了したことにより、今後、大規模災害時に地域の安全・安心な場として貢献することが期待されます。

(一) 田代御船線「上野2工区」の開通 (御船町)



平成29年から事業を取り組んでいた田代御船線(御船町上野2工区)の0.15kmを供用開始しました。
本路線の供用により、安全で円滑な交通の確保、九州中央自動車道上野吉無田インターチェンジへのアクセス向上に寄与することが期待されます。

国道389号「下田南バイパス」の開通 (天草市)



国道389号(下田南バイパス)において、延長0.17kmのバイパス整備が完成し、7月14日に供用開始しました。
安全で円滑な交通の確保により、観光振興や地域の活性化等に寄与することが期待されます。

災害からの復旧・復興

平成28年熊本地震

- ◆ (主) 熊本高森線 ((都) 益城中央線外1線)
4車線化のモデル地区の工事完成 (熊本市～益城町)
主要地方道熊本高森線の4車線化は、用地取得が着実に進み、昨年より先行して工事に着手したモデル地区が3月に完成しました。また、これまでに上下線延べ約1.8kmの区間で工事に着手しており、このうち延べ705mが11月までに完成するなど、復興が目に見える形で進んでいます。



↑モデル地区(広崎)



↑モデル地区(安永)

令和2年7月豪雨

- ◆ (主) 人吉水俣線 西瀬橋に仮橋架設

令和2年7月豪雨により流出し、通学路に指定されている西瀬橋について、国の権限代行事業により仮橋を架設し、9月4日に通行可能となりました。引き続き、一日も早い復旧に向け、全力で取り組んでまいります。



復旧前



復旧後

国道266号「松橋工区」の開通 (宇城市)



国道266号(松橋工区)において、延長0.44kmの交差点改良工事が完成し、5月22日に供用開始しました。
交差点部に右折レーンの設置をすることで交通の円滑化等に寄与することが期待されます。